

～学校と家庭と地域とを結ぶ～

平成24年1月13日

菜の花通信 (学校便り)

岡山市立加茂小学校 発行

NO. 19



3学期がスタート

明けましておめでとうございます。

14日間の冬休みが終わり、子どもたちは笑顔いっぱい元気に登校してきました。大きな病気をすることもなく、日本の伝統文化を味わった子ども、ゆったりと家庭で過ごした子ども、お手伝いに励んだ子ども、おじいちゃんおばあちゃんの温もりを味わってきた子どもと、それぞれに思い出深いお正月だったようです。

さて、3学期は、1年の締めくくりをする大切な学期です。子どもたち一人ひとりが充実した締めくくりをし、次の学年に向けて十分な準備ができるように、全職員全力で支援していきます。十分な効果を上げるためには、地域と学校、家庭との連携、信頼が欠かせません。どうぞ、疑問や不安な点がありましたら、いつでも担任や学校職員にご相談ください。校長への面談もいつでもお受けします。お気軽にお越しください。

<お知らせ>

「日曜参観日・友愛セール」のご案内

すでにご案内をしていますが、本年度の日曜参観・友愛セールを下記の日程で行います。多くの方の、ご来校をお待ちしています。

○平成24年1月15日(日)

■参観授業(各教室) 8時45分～9時30分

■友愛セール(体育館) 9時40分～11時

※児童は、11時40分頃下校の予定

第2回学校教育アンケートについて

2学期末に、学校教育アンケートを実施しました。ご協力ありがとうございました。成果と課題、改善案につきまして、次号でご報告させていただきます。

第3学期始業式の「あいさつ」から

皆さん、新年明けましておめでとうございます。

平成24年(西暦だと2012年)が始まりました。そして干支は、辰「たつ」になります。～略～

辰年にちなんで、龍にまつわることわざについてお話します。

「画竜点睛」これは、なんと読むでしょうか。「がりょうてんせい」と読み、龍をかくいて瞳をいれるという意味です。昔中国の、梁という国に、絵のとてもうまい画家がいました。あるとき、彼は、都にあるお寺の壁に龍を描くことを頼まれました。さっそく画家は、四頭の龍の絵をかきました。その龍は今にも天に昇りそうな勢いがあったのですが、不思議なことに瞳が描かれていなかったのです。彼に理由を尋ねると、睛(ひとみ)を描き入れると龍が飛び去ってしまうからと言うのです。人々は、信じることができず、2頭の龍に睛を描き入れるようお願いしました。そこで、龍の目をかくとそのとたん、急に稲妻がなり風が起り、瞳を入れた2頭の龍はたちまち天に昇っていったというお話です。(後には、瞳を入れなかった2頭の龍が残ったそうです)

「画竜点睛」ということわざの意味は、今お話したように、**最後に大切な部分に手を加えて仕上げる、総仕上げをする**という意味です。

3学期は、それぞれの学年の最後の仕上げをする学期です。龍の瞳になるものは、みなさんひとりひとり違います。何をがんばったらいいでしょうか。何ができるようになったらいいでしょうか。漢字・計算・読書・マラソン・友達作り、4月からの勉強や生活を振り返り、自分でがんばろうと思うことを決めて、自分らしい1年間のまとめをしてください。

特に6年生は、小学校生活最後の学期です。一日一日を友達とともに大切に生活し、思い出をたくさんつくってほしいと願っています。それから、登下校の仕方や、あいさつ、言葉使い、遊び方など、下級生の不十分なことは、きちんと教え、最上級生として加茂小学校の「人を思いやる」伝統を伝えてほしいと思います。また5年生は、4月から最上級生になります。今の6年生の行動をしっかり見て、最高学年になる準備をしてほしいと思います。

3学期は、学校へ来る日が54日しかありません。しっかりと目標を立て、決めたことはすぐあきらめないで強い心をもって、元気いっぱいやり抜きましょう。

